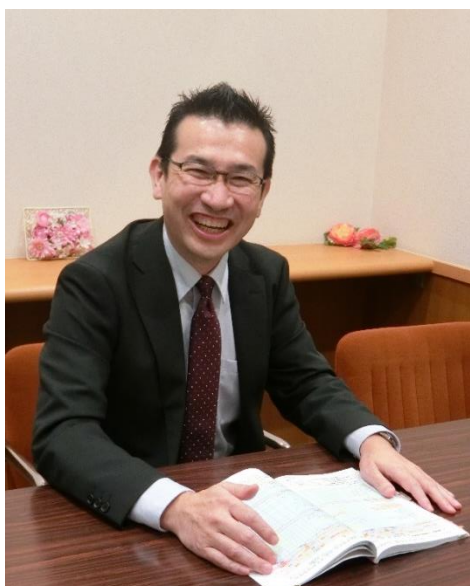


【資格の大原 静岡校】

2022年度 宅建士試験 合格者インタビュー



Kimitaka Sugiyama

杉山 公隆

2022年 宅建士合格コース・入門パック
静岡校受講

2022年 宅建士試験 合格（受験回数1回）

テレビCMでも有名なアミューズメント会社の店舗開発部門に勤務。授業開始の30分前には教室に入り、講師に前回の授業の質問を積極的にするほか、問題を解くなど熱心な勉強姿勢が印象的。

モチベーションキープのため、スターバックスコーヒーやマクドナルド、大原の自習室などを“はしご”して自主勉強をすることを習慣化。 さぞ、受験勉強は順風満帆であったと思いきや、時に勉強の壁にぶちあたり、試験直前期には「台風15号」による断水の被害を受けるなど、その道のりは決して楽なものではなかったそう。今回、杉山に約10か月におよぶ宅建士合格までの道のりを振り返りざっくばらんに語ってもらった。これから宅建士試験合格をめざす初学者はもちろん、リベンジを果たしたい方、必読の体験談！！

■はじめに

—— 合格、おめでとうございます！ まずは、この度の合格に関して一言お願い致します。

杉山 今回の合格を野球で例えると『9回裏2アウトからの逆転サヨナラ満塁ホームラン！』そんな印象を持っています。 合格したことが今でも夢のようです。

どうして合格できたのか？と問われたら『最後まであきらめなかった！』この一言に尽きます。これは石田先生に試験直前までサポートして頂いたおかげです。石田先生がいなければ自分には（合格までの道のりを）“完走”することができなかつたと考えています。

■自己紹介

—— 宅建士試験を受験される方は不動産業界の方が多というイメージがありますが、簡単に自己紹介をしていただけますか？

杉山 私はアミューズメント会社の店舗開発部門に勤務する40代後半のごく普通のサラリーマンです。ちなみに趣味はラーメンの食べ歩きです。
実は大原の門をたたいたのは2回目です。20代の頃に簿記検定を受けましたが、1点足りずに不合格……。悔しくてそのまま大原から失踪しました（笑）。今回は、その時のリベンジの気持ちもありました。



■受験の動機

—— 宅建士試験を受験しようと思った動機は何ですか？

杉山 2021年12月の人事異動で店舗開発部門に異動になり全く知識がない状態でしたので、どうせ勉強するなら宅建士になってみようという安易な動機からはじまりました。

■大原受講の動機

—— 大原を受講しようと思った動機は？

杉山 色々ネットで調べて娘のピアノ教室の近くに大原があったことを思い出し、アポ無し訪問しました。たまたま（授業中ではなく）いらっしゃった石田先生の話聞くことができました。ただ正直この段階では独学でやる気持ちも半分あり、子供たちにお金がかかる時期だっ

たため入校をあきらめて独学にすると決意！すぐに大型書店でテキストや問題集などを購入しました。

しかし年明け、独学が限界となりました。勉強の習慣がない私はすぐに眠くなってしまい知識をインプットすることが出来ませんでした。1月中旬となり大原で受講することを決意。通信教育ではなく、直接、授業を受けることができる教室通学の入門期から入りました。

石田先生からは以前の説明の際に「(申し込み前に)他のスクールと比較することと、大原の無料体験入学を是非してみてください。」と勧められていましたが、説明を受けた際の石田先生の温厚な人柄が好きでしたので迷わず大原で受講することを決意しました。



■入門期

—— 受講を始められて勉強はいかがでしたか？

杉山 順調にスタートしたと言っていると思います。

勉強をやってこなかった自分にとって、石田先生の授業はジェスチャーや体験談を交えたアドバイスが入り大変助かりました。時々、授業から脱線することも楽しかったです。

入門期の先生からの教えで印象に残っているのは勉強時間・場所の確保の事です。特にスターバックスコーヒーやマクドナルドなどで勉強できる環境づくりは、後々、大きく効果を発揮しました。おかげで勉強スタイルを確立することができ、受験勉強を軌道に乗せ合格までのレールを進むことが出来るようになりました。

■大原宅建士講座の先輩（OB・OG）との出会い

—— 3月末に開催したOB・OGによる合格者座談会（『特別セミナー』）はいかがでしたか？

杉山 ここですごくギアチェンジ！！しました。
基礎期に入る前、大原で合格した先輩方から直接、合格体験談を聞く機会があり、ここで大きくギアチェンジしました。

OBの方から「5月の宅建業法の定例試験で良い点を取ると合格の可能性が広がります。そのためにゴールデンウィークは家族旅行中も勉強していました。」と伺い、勉強時間を増やすきっかけをいただきました。

OGの方からは、3回目の試験で合格されたお話を伺いました。先に合格した受験仲間から励ましてもらったエピソードをお聞きしてほっこりしました。
また「人生の中で考えれば宅建試験の勉強期間なんてほんの少し。3年かけて合格しても充実している」と伺い共感しました。

ちなみに私は、ゴールデンウィークは隙間時間も含めてかなり勉強しましたが、宅建業法の定例試験はボチボチの結果でした。ただOBの方から「大丈夫」とメールで励ましていただき前を向くことが出来ました。



■基礎期

—— 大原のカリキュラムは「入門期」・「基礎期」・「直前対策期」とステップアップしていきますよね。基礎期はいかがでしたか？

杉山 入門期に勉強をしたはずの宅建業法や権利関係の内容をすっかり忘れてしまっていることに愕然としました。中間試験、定例試験もぼちぼちの成績で伸び悩みがづきました。

極端な考えですが、自分の頭がおかしいのでは！と深刻に悩み始めていました。そこで思い切って石田先生に相談することとしました。紙に悩みを書きたいだけ書いて、授業の時に石田先生に渡しました。

石田先生からは、①睡眠時間をとること ②（授業中は）無心になること ③サウナで整うこと（笑）を勧めていただきました。

石田 仕事との両立は思いのほか大変です。自宅学習を記録する「合格シート」を授業の都度、確認させて頂いておりますが、杉山さんの必死さが痛いほど伝わってきました。しかし、睡眠時間を削りながらのがむしゃらな勉強のご様子は、長期に渡る勉強の支障になると思い、①～③のアドバイスをさせて頂きました。

その後、しばらくして杉山さんからガチャガチャで出した「マンガ サ道」のフィギアを頂きました（笑）。サウナ好きの私にはとても嬉しいプレゼントでした！ありがとうございました。



■直前期

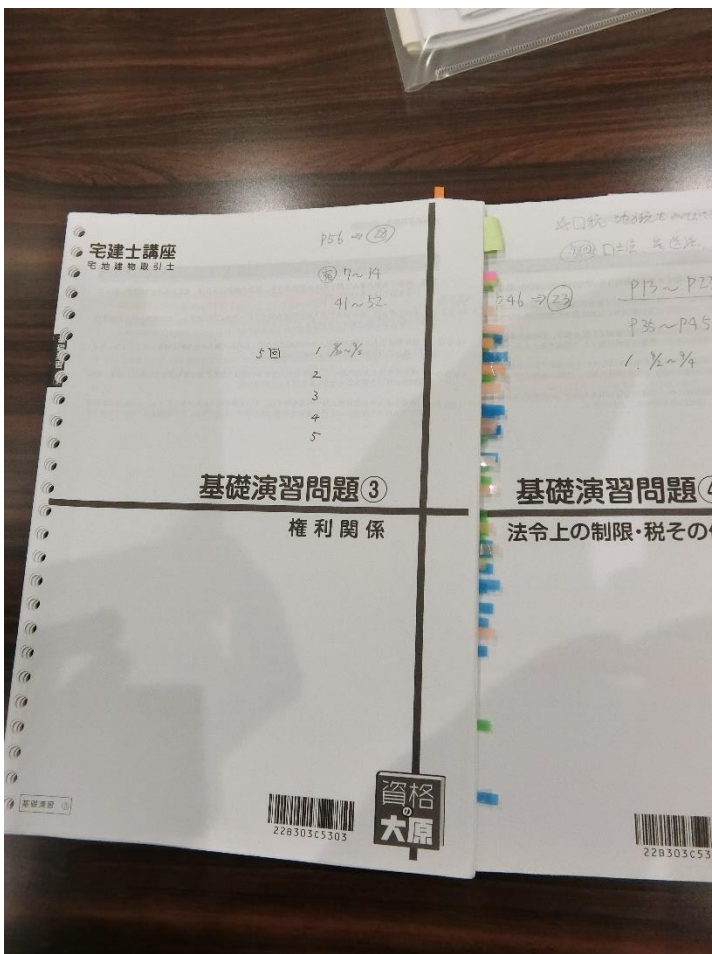
—— 8月の中旬から始まる「直前期」はいかがでしたか？

杉山 模擬試験のコースから申し込みをされる受講生の方が出席するようになり、教室の雰囲気がガラッと変わりピリピリとした空気になりました。

私の模試結果は30点前後、特に得点源の宅建業法が取れなかったです。教室のあちこちで「合格点到達」という声が聞こえ、中には「満点！」という強者の発言もあり、段々モチベーションが下がっていきました。何度も「今年はあきらめて来年。自分には向いていなかった。」という弱い気持ちが沸々と湧き出していきます。

そんな時、石田先生から「宅建業法が取れないなら、むしろチャンス。それは大きな“伸びしろ”です。必ず“ワンチャン”あるから、あきらめないで！」と励ましてもらいました。

そしてOB・OGの方の体験談の中から同じように悩んでいた方の話を教えてください、「宅建業法に集中できるように、権利関係は範囲を広げず、直前期の『基礎演習問題』に絞り、5回転はやるようにしましょう。法令制限と5問免除は本試験直前に効率的に学習しましょう。」とアドバイスをいただきました。



■ 2週間前

杉山 宅建業法が少しだけ手ごたえを感じできたので、権利関係、法令制限もスタート。この2週間、特に最後の1週間はスーパーボーナスタイムと考えて、暗記したことを忘れる前にテストに入れると信じて勉強時間を極限まで拡大しました。

—— 徐々に本試験が近づいてきて、最後のラストスパートの時期ですね。

■ 台風 15 号による被災

杉山 それが、2022年9月24日に台風15号により被災しました。断水により5日ほど水がでない状況となり、勉強は隙間で実施しました。家族を入浴施設に連れていくため、この時、初めて大原の授業を休みました。

■ 本試験直前

杉山 本試験4日前からは会社に休暇をもらいラストスパートしました。ひたすら勉強すると集中力が途切れるので午前中はマクドナルドとスターバックスコーヒー、昼は図書館、夕方から大原の自習室をはしごしました。

本試験2日前、宅建業法の過去問をやると今まで7回やって出来なかった問題がやっと解けました。誰一人いないと思った大原静岡校の5階自習室前のフリースペース。思わず大きくガッツポーズ！そしたら後ろに大原専門学校の学生さんがビックリした表情で立っていました（笑）。

気まずい雰囲気の中、学生さんが、「その気持ちわかります。」とあたたかい声を掛けてくれました。聞いたところ簿記の勉強をしているとのこと。自分の子供と同じ年の学生さんに励ましてもらいました。かなりリラックスできた出来事でした。



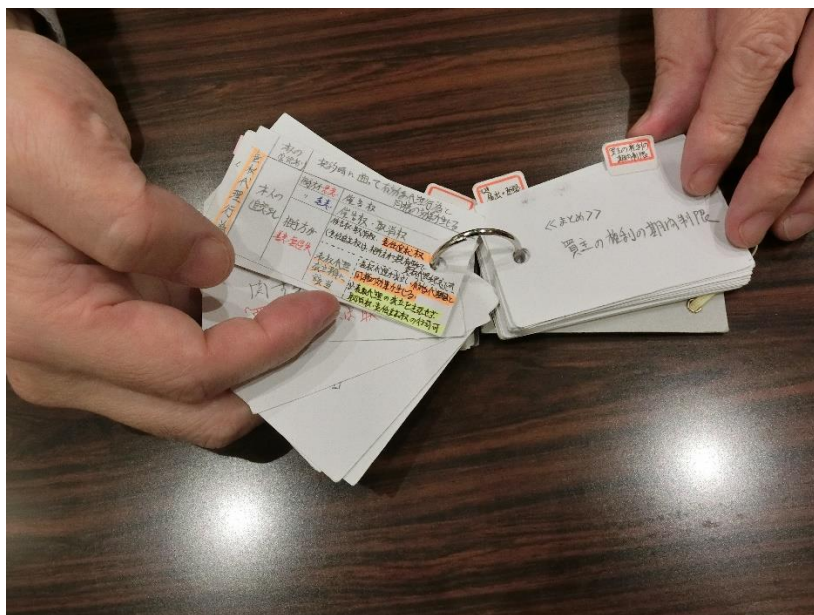
■受付さんにも感謝

杉山 先ほど、大原専門学校の学生さんのエピソードをご紹介しましたが、大原静岡校の受付さんにもいつも笑顔で親切、丁寧に対応していただきました。休憩スペースが、いつも綺麗になっていて花も飾られていて快適でした。テーブル下が汚れていれば直ぐに拭いていただき最高の環境で勉強できました。試験前には個人的なボヤキにも付き合ってください心より感謝しています。



■いよいよ本試験

杉山 試験当日は、朝7時から5問免除問題を集中して勉強しました。その後は、本試験会場で、最後の最後まであきらめないという石田先生の教えのもと、試験開始ギリギリまで勉強！！単語カードも役立ちました。



■本試験

杉山 試験会場はグランシップの大ホール海。約 500 名の受験者とともに試験に臨みました。試験前では高い天井を向いて一呼吸。ウソのように頭が軽く冷静で、試験中に答えが浮かんできました。苦しかった模試の賜物と感じました。

テストのアドバイスで石田先生から「当日、何があっても想定内という気持ちで落ち着いて。」という言葉が響いていました。

本試験が終わり、自宅への帰路。なんとも言えない達成感を感じていました。同時に今まで自分の勉強にいつも一番近くで協力してくれた妻への感謝の気持ちが自然と湧き上がってきました。

合格発表で合格を確認した後、妻に「ありがとう」を伝えることができ、本当によかったです。



■ 来年受験する皆さんへ

—— 最後に宅建士試験合格をめざす皆さんへ一言お願い致します。

杉山 「最後の最後まであきらめない！」。この一言に尽きます。

そのためにはモチベーションを徐々に上げていくペース配分が重要だと思います。宅建士試験は勉強期間が長期間に渡ります。無理せず10月の試験に最高の状況になるよう焦らず頑張ってください。OBとして皆さんの宅建士合格を心より応援しています！



合格おめでとうございます！

今後、益々の杉山様のご活躍を祈念しております！

(撮影日) 2022年11月28日(月)

(場所) 資格の大原 静岡校

写真左 静岡校宅建士講座 担当講師 石田俊一